

望ましい取扱説明書 作成講習

2023年5月19日

一般社団法人 PL 対策推進協議会
理事 渡辺 欣洋

はじめに

ガイドラインの位置付け
Chat GPT の回答

1. 目的と役割

- ①消費者の知る権利
- ②誤使用による事故やトラブルの防止
- ③裁判での判断（指示警告上の欠陥主体）・・ADR（早期和解）
（話し合い時の対策）

2. 消費生活用製品と関連法

- ①消費生活用製品の定義
- ②取扱説明書に係る法律
- ③表示に係る法律
- ④消費者基本法

3. 消費者基本法

- ①消費者基本法第5条の求めるもの
- ②経営姿勢を問う

4. 取扱説明書基本事項

- ①必要項目
- ②記載順序
- ③必要な機能（保管性、視認性、機能性、整合性）

5. 取説重要項目

- ①表紙
- ②危険の洗い出し
- ③保証規定
- ④責任主体

6. 危険の洗い出し

- ①洗い出し作業
- ②結果への評価

7. 既存取説の検証

- ①改良点の抽出
- ②簡易検証確認

8. 取扱説明書作成規定について

- ①作成部署
- ②確認・承認部署
- ③検証方法

9. 社内体制の整備

- ①PL 対策
- ②製品事故未然防止・再発防止・リコール対策
- ③中古製品の取り扱い
- ④製品の廃棄
- ⑤社内体制と企業文化（経営者責任）

10. IT 活用

- ①デジタル化の効果
- ②GS1QR
- ③製品の安全に関する米国の動き

11. その他

- ①大阪・関西万博
- ②SDGs
- ③輸出入品のグローバル対応